

集 tsudoi



兵庫の建築
Architecture of
HYOGO

北摂三田ニュータウン アルカディア21住宅街区
土木学会デザイン賞2007年度優秀賞

竣工年 1987年 所在地 三田市弥生ヶ丘

建築士会の皆様へ、三田支部より「アルカディア21街区」をご紹介します。三田市は、昭和62年から平成8年まで10年連続で人口増加率日本一を記録しました。その魅力の一つに、北摂三田ニュータウンの街区計画が一役買っています。

「各宅地が供出した土地を街区中央にまとめ、築山樹林に囲まれたナチュラルコモンと呼ぶ芝生広場を生みだした。広場は、住民の共有地であるが、地域に開放され、周辺地域の街づくりに寄与しており、三田市が固定資産税の減免を行っていることも特筆される。芝生広場、公共移管された道路、各宅地の外構などに共通の御影石を用い、一体的な地域環境となることに注力した。」

株式会社現代計画研究所：HPより文書引用

同住宅街区は、魅力的な共有庭園とこれらと一体となった住環境を創り上げてきた21戸の居住者の思いが高く評価され、別受賞「住まいのまちなみコンクール・住まいのまちなみ優秀賞」も受賞されております。

隣接する深田公園や「人と自然の博物館」と共に、北摂三田ニュータウンの総合的な住空間が人を呼び寄せたのでしょうか。

文・写真：野上 伸二（三田支部）



ナチュラルコモン



共通外構の御影石



深田公園



人と自然の博物館

目次	P.1	兵庫の建築・北摂三田ニュータウン アルカディア21住宅街区
	P.2	令和6年度 公益社団法人 兵庫県建築士会 定時総会
	P.3	加古川支部創立60周年記念 特別講演会 事業報告
	P.4	令和6年度 特別講演会 事業報告

メール配信と名簿のご案内

「集 tsudoi」誌面に掲載できない情報などを「兵庫県建築士会メールニュース」として配信しています。受信希望の方はホームページからメール配信登録をしてください。またホームページの名簿への掲載を希望される方は会員建築士名簿のページからお手続きください。



■定時総会

令和6年度定時総会が、令和6年5月25日(土)に兵庫県学校厚生会館にて開催されましたことを報告させていただきます。出席者48名、委任状565名、合計613名で正会員1,242名の3分の1にあたる414名以上の出席により成立し、報告事項(事業報告・収支予算報告等)、決議事項(収支決算報告、理事選任等)の議案がすべて承認されました。



会場風景



執行役員



来賓紹介

■式典・表彰式

式典では多くの来賓の方々にご出席頂き、兵庫県まちづくり部 部長 松浦純様、神戸市建築住宅局 部長 田中幸夫様からご挨拶を頂きました。

また、表彰式では、第35回住生活月間功労者国土交通大臣表彰 中山栄一郎様、令和5年度兵庫県功労者表彰 岡崎雅彦様、第65回建築士会全国大会日本建築士会連合会長表彰 橋本育子様、矢幡稔様、森垣智様、第65回建築士会全国大会伝統的技術者表彰 天野武様の方々の受賞が披露されました。また、永らく本会の発展に寄与されました永年表彰29名の方々を代表され、北播磨支部 梶本泰彦様が賞状と記念品を授与されました。



来賓挨拶(兵庫県) 来賓挨拶(神戸市) 正木会長挨拶



各表彰者 永年表彰

■活動報告

地域貢献活動報告を団体名「シン・ASHIGARU隊」、事業名「しおかぜこみち東屋再生プロジェクト」を金尾祥吾様、古田晃久様、岡本大樹様の方々に映像でご紹介頂き、建築甲子園の報告では、参加校の明石工業高等専門学校、「逆通勤交代 ～室津、研修施設兼移住体験住宅での暮らし～」を映像と動画で西嶋副会長から紹介して頂きました。

賛助会員様からのご案内は、株式会社ナカムラ様、株式会社チュウガイ様、株式会社浜崎様、兵庫確認検査機構様の4社様にして頂きました。



西嶋副会長



地域貢献活動報告



建築甲子園報告

■懇親会

今年は神戸南京町の「雅苑酒家」にて来賓の方々にもご出席頂き、54名の参加者で開催することができました。約2時間の懇親会でしたが、和気あいあいと交流して頂き、楽しい時間を過ごせましたことに感謝いたします。

ご来賓、会員の皆様におかれましては、遠方から、又ご多忙中にも関わりませず、ご参加を頂きましたことに感謝いたします。今後も公益社団法人兵庫県建築士会が市民の皆様にあいさし、貢献すること、更に会員相互のかたい協力により、今後益々の本会の発展を祈念致します。

文：戎 孝之(総務委員長) 写真：高麗 憲志(青年委員長)

■歴史的な景観の保存とまちの将来を考える

4月27日、加古川商工会議所において、「加古川支部創立60周年記念式典」が開催され、特別講演会として株式会社カネカの福田竜二様に「SDGsがもたらす未来」という演題でご講演を頂きました。

私たち建築に携わる者にとっては、避けることの出来ないゴミの問題。いわゆる産業廃棄物。その問題にも結びつく「生分解性バイオポリマー」の開発にまつわるお話ということで、多くの方が興味を持って聴かれたように思います。生分解性とは、微生物の働きで最終的にはCO2と水になって自然界へと循環していく性質のことです。海水や土壤中で分解されるプラスチックの概要と、資源循環型社会構築に向けての取り組みなど、中身の濃いお話に自らの仕事を重ね合わせ、様々なことを学ぶ機会となりました。

日常においてプラスチックはありとあらゆるところに用いられていますが、それを意識して生活することはほぼありません。初めて数値で知りましたが、世界で4億t/年のプラスチックのゴミが出ており、これから数十年の間に2倍、3倍と膨れ上がると予想されているそうです。

1950年以降に世界で生産され、生分解されずにゴミとして蓄積された量は、このままですと2050年には海の魚の総重量を超えるらしく、あまりのリアルに驚愕したのは、私だけではなかったと思います。魚よりもゴミの方が多海なんて、考えるだけでも気が滅入ります。

4月11日の新聞にも、まさに今日の演題そのものの「海に解けるバイオプラスチックの量産化」という記事が掲載されていました。神戸大学、産業技術総合研究所、株式会社カネカの共同研究ということでしたが、待たなしの課題で



参加者の様子

あることがここからも読み取れます。

私たちが携わる建築というカテゴリー。利便性や快適性を求めることにより、様々な犠牲を払ってきた現実を直視しなければなりません。

自然に還るこのような素材や技術が建材などに用いられ、少しでも産業廃棄物を削減する方向へ時代は流れていくでしょう。私たち自身も、単に破壊と創造を繰り返すことには疑問を持ち、何ができるのか、何をすべきなのかを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



株式会社カネカ 福田 竜二氏

余談ですが、講演をどなたに依頼するかということは、容易ではありませんでした。今の時代に相応しいテーマは何か、業界関係者か異業種か…様々な事柄をつなぎ合わせながら、準備委員会で考えに考え抜いて、地元高砂市に事業所を持つ株式会社カネカさんに高砂市議員の方を通じてお声掛けさせて頂きました。

そしてご快諾いただき今回この講演会が実現しました。ご尽力いただきました全ての方に感謝します。



講演会の様子

文・写真 有田 和人 (加古川支部)

■神家昭雄「普通で自然な建築 美しい普通はあるのか？」

今年度は岡山に事務所を構える神家昭雄氏をお招きし、住宅作品を中心にご自身の建築作品や設計に対する考え方を身近な事例を挙げながら分かりやすく丁寧にお話いただきました。特に神家氏が優れた建築として取り上げた後樂園にある「流店」と岡山大学のカフェ「Junko Fukutake Terrace」との共通点を取り上げ、ご自身の建築哲学とも共通すると語っていたことが印象的でした。

我々神戸支部青年委員会では、近年特別講演会に先立って、ご講演いただく講師の方の建築作品を事前に見に行く建築見学会を行っており、今回も昨年12月に神家氏の岡山にある建築作品とご自身の最初期の作品であるアトリエにお伺いさせていただきました。



2023年12月9日に開催した建築見学会のときの集合写真

当日はバスに我々と同乗いただき、終日ご案内いただきました。特に「牛窓のヴィラ」では施工中の様子を見せていただき、職人の方からも話をお伺いできました。また、アトリエではご自身の描いた油絵を見ることができ、アーティストとしての一面も知ることができるなど、他にはない充実した見学会となりました。

昨年度に引き続き今年度も会場は満員となり、非常に盛況のうちに終えることができました。

一方でオンライン開催については、先着順で定員100名としていたところ、100名以上のお申込み



をいただきましたが、実際にオンラインで参加されたのは50名程度と半分程度の参加者数となっています。他方、オンライン開催やその準備には非常にコストや手間がかかっているため、今後もオンラインを併用するのか、開催方法については再検討し、より良い活動に繋げていく予定です。



神家昭雄氏のご講演の様子



当日の会場の様子

令和6年度 特別講演会

- 日 時 : 令和6年4月27日(土) 14:30~16:30
- 場 所 : 神戸市産業振興センター9階
- 講 師 : 神家昭雄(神家昭雄建築研究室 / 建築家)
- 題 目 : 普通で自然な建築 美しい普通はあるのか?
- 定 員 : 入場50名、ライブ配信視聴100名 Zoomビデオウェビナーによるライブ配信を同時開催
- 主 催 : 神戸支部青年委員会

文：高麗 憲志(神戸支部) 写真：荒川 直樹(神戸支部) 川田 靖(神戸支部)